

OWMA

“Live”

===== *Ain't no mountain high enough*

ごあいさつ

みなさま、コンバンワ!

今日は、第二回大妻女子大学フォークソングクラブ、別名「なっとう」の定期演奏会に御来場いただきまして誠にありがとうございます。

長く、そしてまた短かく感じられた、この一年間をふりかえりまして、クラブの運営上、つまづくことばかりで悩むことの耐えない一年間でありました。一生懸命やろうとすればするほど障害が多くなってしまったものでした。しかしそんなことにもめげず部員一同、音楽を通じての団結で良く頑張ってきました。その成果をどこまでだしつくすことができるか、今日は是非とも最後のLightが消えるまで御覧ください。

尚、今回のコンサート開催にあたりまして、御協力下さいました関係者の方々に、この紙面をおかりして、お礼申し上げます。

会長 秋山 玲子

どんなに高い山でも
どんなに深い谷でも
どんなに広い川でも
貴方から私を引き離すことなんて
できやしない
決して!

会いたくなったらいつでも呼んで
どこにいても、どんなに遠くにいても
すぐに飛んで行くわ
私がどんなに貴方のことを想っているのか
とても口になんか出せやしない

祝 辞

初恋の人に似ている、さよならだけが人生ならば、あなたが欲しい……とか曲の題名を見ているだけでも何となく生きるよるこびが湧き起ってくる。家の中でごろごろしているのが何だか損しているような気がしてならない。

思い切って外に飛び出してその気にならないものかと……まさか本気でそう考えてはいないけど、僕の年になってくると未来はそう明るくない。残念である。わが親愛なるフォーク・クラブの彼女達よ「明日では遅すぎる」今日一日君達の若いエネルギーを爆発させ、青春に悔なしの演奏会を心より期待する。

だが、あの素晴らしい愛をもう一度……と思い込んで、親父にさよならして、恋のグァム島へ一人ぼっちの旅に出て、誰も居ない海でつぶやきながら……そんなつまらないこと考えないで少しはガクギョウに励み、やがてステキな花嫁になって欲しいと思わずにいられません。成功を祈ります。

フォークソング顧問 浅見 正

貴方が理想に向って行かなければならない
人だということは、わかっているの
でも覚えていて!
たとえ貴方が現実の重みに
負けるようなことがあっても
貴方には
決して失うことのないものがあるということを……

貴方はいつでも私に会える
この愛も、この両腕も、この唇も
いつも、いつまでも
貴方のもの……

ひとこと

お元気ですか……。

私達“なっとう”もなんとか第2回目の発表会を迎えることができました。

さて、この一年間を振り返ってみて、私達の欠点を考えてみると、少しコーチにたよりすぎていたのではないかと……ということなのです。しかし、今の私達の段階では、少なくとも、人前で演奏できる音楽性を維持していこうとすれば、それはやむを得ないというよりも、必要なことであると思うのです。クラブがただみんなで楽しむことを目的としたものならば、コーチなんぞはいなくてもかまいません。しかし、私達にとって音楽はそれ以上のものになろうとしています。“やりたいこと”と“できること”——この二つの間に大きな壁がある限り、私達はコーチの骨の髄までしゃぶりつくして、利用するつもりでいます。

ちょっと固くなってしまったけれど、なにしろ、私達はまだ2才をむかえたばかりの“なっとう”を雨にも風にも負けない、元気で丈夫なものにするために、これからはなり振りかまわず、音楽に狂いたいと思っています。では、又……。

コンサートマスター 武藤 祥子

Ain't no mountain high enough
Ain't no valley low enough
Ain't no river wide enough
Nothing to keep me
Keep it from you

COFFEE · HAMBURGER

Holiday - in

市と公印工乗出たっ占 TEL/00510000



ティールーム
あま

Sing Out・曲目紹介

- お願いがあるの— words & song by
Wada & Fujii arr. by Fujii
- Tell it on the mountain—
arr. by Kyōgoku
- Green Green—
- Today— arr. by Wada
- Mighty Mississippi— arr. by Wada
- Teach your children & Pack up your
sorrows— arr. by Wada & Fujii
- 赤い花・白い花— arr. by Fujii
- Stone soul picnic— arr. by Wada
- お江戸日本橋— arr. by Fujii
- Delta Dawn— arr. by Fujii
-
- Rave on— arr. by Fujii
- High-flying bird— arr. by Mutō
- O. G Time—
- 雲の流れに— Words & Song by
Wada & Kyōgoku arr. by Wada
- Little Lamb Dragonfly—
arr. by Fujii
- Masquerade— arr. by Fujii
- Can't give it up no more—
arr. by Wada
- Neither one of us—
- 朝発ちの歌—
Word & song by Sakai arr. by Fujii
- Border Song—
arr. by Wada & Fujii & Sakai
- Ain't no mountain high enough—
arr. by Wada

おまたせしました。オープニングナンバーはオリジナルで、いつも私達がステージで最初に歌い続けてきた曲です。では、これから2時間の間、私達の歌をお聞き下さい。

古くからある、スタンダードフォークの1つです。1部は、こんな感じの曲を集めてみました。私達がクラブに入って、初めて先輩に教えていただいた曲です。KWFMAと同じアレンジでやってみました。さあEverybody Let's sing sing!

“あなたのため、愛のため、生きてゆくわたし。あなたを信じて……”スタンダードフォークの代表的なラブソングですが、私達は黒っぽいアレンジでお送りします。

ミシシッピー川の偉大さをたたえるのにふさわしい曲です。昔なじみの友に別れをつけて、川を下る男らしい歌を軽快なギターとバンジョーにのせて歌います。

CSN & Yの中でも、特にやさしく、暖かい曲を書く、Graham-Nashの作と、モダンフォークの大御所、PPMのヒットでおなじみの曲をメドレーで、一年生がお送りします。

誰にでもあった子供の頃の素朴で可愛らしい心をそのまま歌にしたような曲です。続けて、一年生が歌います。

この辺で、ちょっと気分を変えて、リラックスしたムードで、ローラ・ニーロの作品を一曲お聞かせしましょう。'68年、フィフスディメンションがヒットさせた曲です。

着物、富士山、芸者、おしるこ、日本髪、三味線、お寿司、お正月……。皆さんよくご存知の日本民謡ですが、どこにもない様な、アッと驚くアレンジでせまってみます。

私達が、ベット・ミドラーのレコードを聞いて、一番やってみたいと思った曲がこの曲です。彼女はとても上手にアメリカ南部の香りを歌に表現していますが、さて私達は……?

Rest Time

今年の夏、来日したNGDBのLPの中で一番好評の“アングルチャーリーと愛犬ティディ”の中の一曲です。いよいよ2部のはじまりです。2部は、Rock Soulを中心にお聞かせしましょう。

エルトジョンのLP“ピアニストを撃つな”のB面最後の曲です。追いかけても追いかけても愛する人ととどかない……せつない男の人の気持ちを女である私達が歌ってみました。

去年何も知らなかった私達をやさしく導いてくれたOGです。過ぎた思い出を胸に今日はどんな歌声をきかせてくれるのでしょうか。

去年のクラブ結成時代に生まれたオリジナルソングです。青く広い海と、遠い昔を思い出して、OGの方々をまじえて、胸いっぱい歌います。

ポールマッカートニー&ウィングスの“レッドローズ・スピードウェイ”の中できわだって、美しいこの曲に一年生が挑戦してみます。Little Lambとはジョン・レノンのことばではないのでしょうか?

先月来日した、レオン・ラッセルの“ローニー”に入っている曲です。夏の合宿所に出現した幽霊が、再びイントロの部分に顔を見せます。ヒュー、実は恋の破局を歌っているのです。

最近のソウルブームに私達も影響されて、グラティスナイト&ピップスの2曲を特集してみました。一曲目に彼らのLP“さよならは悲しい言葉”のB面のとてもリズム的な曲を取り上げてみました。

同じLPのタイトルの曲です。夏合宿において、この曲のムードの表現に苦労しました。いつのまにかダメになってしまった二人、どうしても言い出せないことば……oh, Neither one of us want to be the first say-good-bye……。

「私の好きなあの人はきっと今ごろなにも知らずに眠っているのでしょうか。でも私はこの街を出ます。愛のない街を……。」オリジナルです。

いよいよ、コンサートも終わりに近づきました。1・2年合同で全世界の人類愛を願って歌い続けます。——聖なるモーゼよ、平和を我等に——この曲もエルトン・ジョンの作品です。

モータウンレコードの女王、ダイアナ・ロスが放ったヒット曲を私達が最後の力をふりしぼって歌います。——どんなに高い山もどんなに深い谷もあなたから私を引き離すことはできやしない——

Staff

Director	Kyōko Watabiki・Michiko Kawakami・Ritsuko Tomiyama
Costume	Michiko Kawakami・Yōko Nishizima
Hall Planning	Kyōko Wakatsuki・Junko Tsuruoka
Ticket	Sachiko Kamimura
Program	Shōko Mutō・Junko Tsuruoka
Advertisement	Chizuko Gō・Yoshiko Konya
Diplomacy	Sonoe Takahashi・Toshiko Tamaki



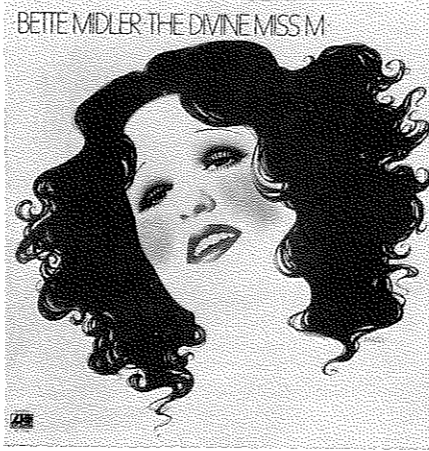
スナック

ジュリアン

アメリカが生んだ最後のシンガー

ベット・ミッドラー

人気沸騰 全米ナイトクラブ
の人気をせらい
カーネギーホールに進出した
驚異のマルチタレントベット・ミッドラー
のデビューアルバム!!



《A面》
•Do you want to dance
•Chapel of love
•Superstar
•Hallow in there
•Am I blue

《B面》
•Friends
•Daytime huster
•Leader of the pack
•Delta Dawn
•Boogie Woogie Bugle boy

彼女の
2枚目LPは
1月25日頃発売予定



ワーナー・ハイオニア株式会社

『彼女は、本能でふるまうことを禁じられた
現代において、そのワクをきれいに取り
払った本当のエンターテイナーだ。』
(ビルボード誌)
『彼女はなんでもできる。歌のあい間の
トークは本当に聴かせる。彼女は
面白く、ファンキーで、すばらしく俗
っぽい。だが、何にもまして、彼女は本
当に歌える。』
(フィカロ誌)
『一見、無秩序無政府状態の“今”が感じら
れるのです。平たくいうと退廃的で良いの
です。』 (亀淵昭信)
New Music Magazine 5月号
『We love you Miss M. Oh yes We do!!』
(今野雄三)

『何かとてつもない歌手が出現したも
のだ……!!』 (青木啓)
『ありきたりの説明ではとても表現出
来ない。』 (朝妻一郎)
『ガツンときたね、この新鮮な魅力。』
(糸居五郎)
『僕はベットに一目惚れ。』 (立川直樹)
『アメリカ音楽の救世主、ミスM。』
(中村どうぶつ)
『ロック時代の最大のエンターテイナー!ベット・ミ
ッドラー』 (福田一郎)
『底知れぬ魅力と“うたうこと”に稀有な
執着を持ったシンガー。』 (悠雅彦)
『ぜひ、本物のステージを見てみたい!!』
(藤井和雄)



- “なつとうⅡ” 1年間のあと
- 1972. 12. 22 “なつとう” 第1回定期演奏会終了
 - 1973. 2. 19 2年生(OG) さよならコンサート 於：安田生命ホール
 - 3. 19 家政科謝恩会出演 於：ヒルトンホテル
 - 3. 22 国文科謝恩会出演 於：ホテルニューオータニ
 - 3. 28 伊豆白浜にて春合宿
 - 4. 23 新入部員説明会
 - 5. 11 じょいんとこんさあと いんめい 於：共立講堂
 - 6. 2 横浜バサール出演
 - 6. 3 千葉十字屋出演
 - 6. 10 大妻同窓会青葉の会出演
 - 8.27~9.3 夏合宿 於：猿ヶ京
 - 11. 3 亜細亜大学文化祭出演
 - 11. 4 明治大学文化祭出演
 - 11.22~25 強化合宿 於：千葉富浦
 - 11. 29 東京農業大学定演ゲスト出演
 - 12. 12 第2回定期演奏会 於：日消ホール
- 協賛：ニッポン放送・ヤマハ楽器渋谷支店



東京都千代田区
電話 三五・四三三四

風月堂



33 1/3

STEREO

0-0002



Aint no mountain high enough



SIDE TWO

- 1) Rave on (2:52)
- 2) High flying-bird (3:49)
- 3) 雲の流水 (4:02)
- 4) Little Lamb Dragonfly (4:50)
- 5) Masquerade (4:12)
- 6) Can't give it up no more (3:26)
- 7) Neither one of us (3:50)
- 8) 朝立5AうE (4:02)
- 9) Border song (3:48)
- 10) Aint no mountain high enough (6:00)

アフターサービスの店
カワセ楽器店

オリジナルギター
 マスター・ボリ
 千代田区神田小川町2-4

CHAMMY SHOP

CHAMMY DESIGNED by NEWYORK
 FASHION JEANS ACME

東京都千代田区九段南3-7-14
 TEL 265-8465